

大阪体育学会
会員の皆様

大阪体育学会 教育領域研究会 シンポジウムのご連絡

テーマ : ウィズ・アフターコロナを見据えた体育授業を考える

コロナ禍の中、2020年6月から小中高等学校では、段階的に対面授業が開始されましたが、大学では、遠隔授業が継続されました。遠隔授業の模索が続く中、本学会では、2020年6月13日(土)に、「新しい生活様式に対応する遠隔での体育授業への模索」というテーマで、シンポジウムを開催いたしました。小学校、および、大学におけるオンライン授業の取り組みが紹介され、体育授業ならではのオンライン授業のあり方について多くを学ぶことができました。物理的に離れていても、ここをつなぐ体育授業の可能性が示されました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)収束の見通しがたかない中、第2弾とはなりますが、本研究会でも、ウィズコロナ、アフターコロナの体育授業について議論したいと思います。今回は、小中高等学校の実践にターゲットを絞ります。

雑誌『体育科教育』9月号の巻頭エッセイで、菊幸一先生が「災い(禍) 転じて福となす「体育」へ」と言葉を述べられています。このような時期だからこそ、体育授業ならではのあり方を検討したいと思います。具体的には、下記の要領で行いますので、多くの方のご参加を期待します。

記

1 日時 : 2021年2月20日(土) 14:00～

2 方法 : zoomによる開催

3 プログラム

開会挨拶 大阪体育学会会長 佐川 和則(近畿大学)

趣旨説明 教育領域研究会世話役 梅垣 明美(大阪体育大学)

シンポジウム(発表時間 お一人15分)

○「つながり」を意識したコロナ禍での体育授業

河田 翔太 先生(京都府城陽市立久世小学校)

○コロナ禍でも体力を高めよう:休校明けに実施した「体づくり運動」

谷本 和昭 先生(豊中市立第十一中学校)

○コロナ禍で行う体育授業の工夫(各校の実践報告)

末常 拓司 先生(京都府立京都八幡高等学校)

指定発言者 陳洋明(大阪体育大学)

閉会挨拶

4 参加費 : 無料(会員、非会員問わず)

5 申込み : 梅垣 (umegaki@ouhs.ac.jp):大阪体育大学まで、氏名・所属・連絡先アドレス(Email)をご連絡ください。ご連絡頂きました方に別途zoomに参加するURLをお送りします。

申込み締切 2021年2月15日(月)

以上